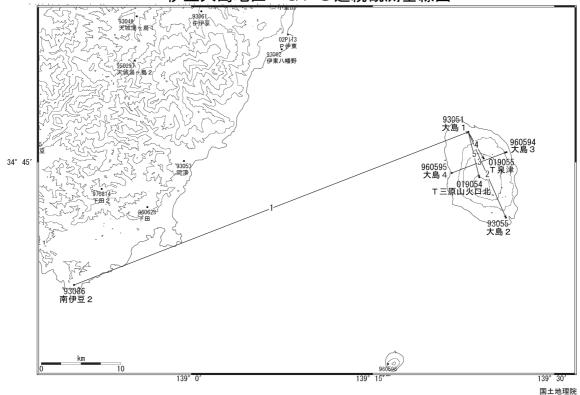
伊豆大島の地殻変動* Crustal Deformations of Izu-Oshima Volcano

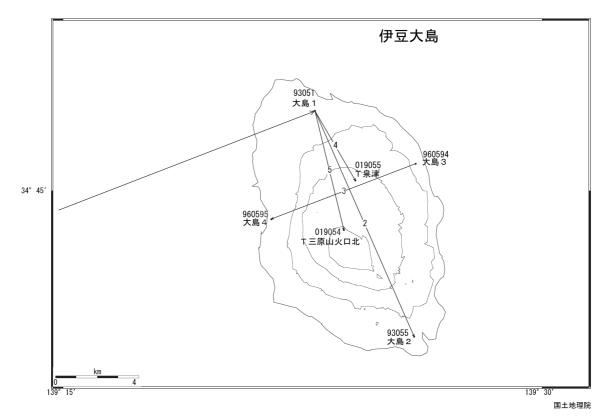
国土地理院 Geographical Survey Institute

第1図は、伊豆大島地区における GPS 連続観測結果である。第1図(a)が観測基線図、第1図(b)は、それぞれの基線の基線長の変化グラフであり、第1図(c)は比高の変化グラフである。第2図(a) - (b)は、伊豆大島での GPS 観測点における水平成分と上下成分の地殻変動観測結果である。これらの変動図は、伊豆半島南部に位置する南伊豆 2 (93086)を固定点とし、基準期間を 2008 年 3 月 1 日からの 10日間、比較期間を 2008 年 5 月 30 日からの 10日間にとった解析結果の差から得られた変動量を示している。時系列でみると、島内の基線では 2007 年 3 月から大きな伸びが始まり、2007 年夏以降速度は鈍化したが 2008 年初め頃まで膨張が継続し、4 月以降収縮の傾向に転じたと見られる。

第3図(a) - (d) は、APS による三原山周辺の光波測距観測結果である。2007 年春に膨張の傾向が見られたが、同年夏以降はその傾向が鈍り、2008年3月頃から収縮の傾向が一部の基線で見える。GPS 観測結果とあわせて、2008年3~4月頃から6月にかけては島が収縮する傾向であったと考えられる。第4図は「だいち (ALOS)」PALSAR による伊豆大島の SAR 干渉画像である。2008年1月30日と5月1日の2時期の SAR データから干渉画像を作成したが、有意な変動は検出されなかった。



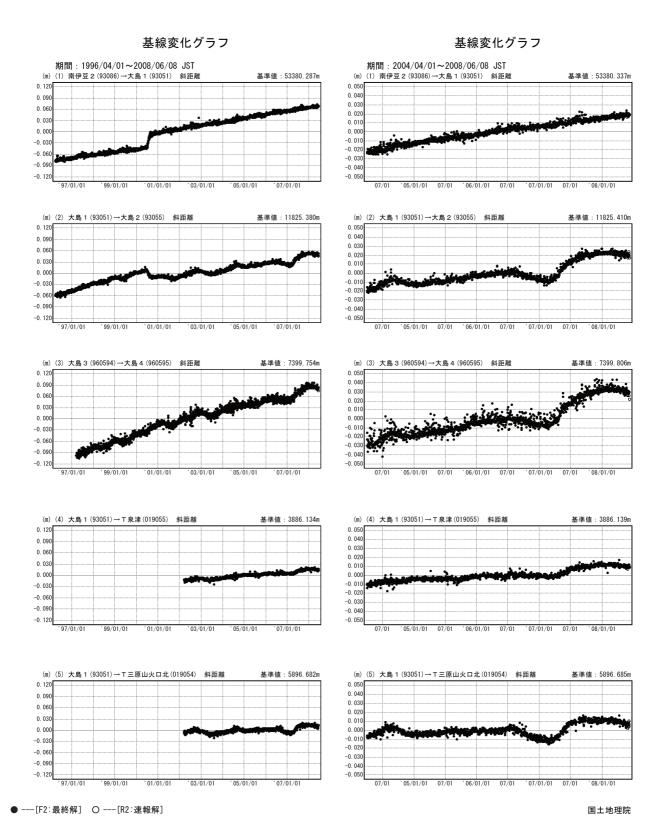




※電子基準点の保守等による変動は補正済み

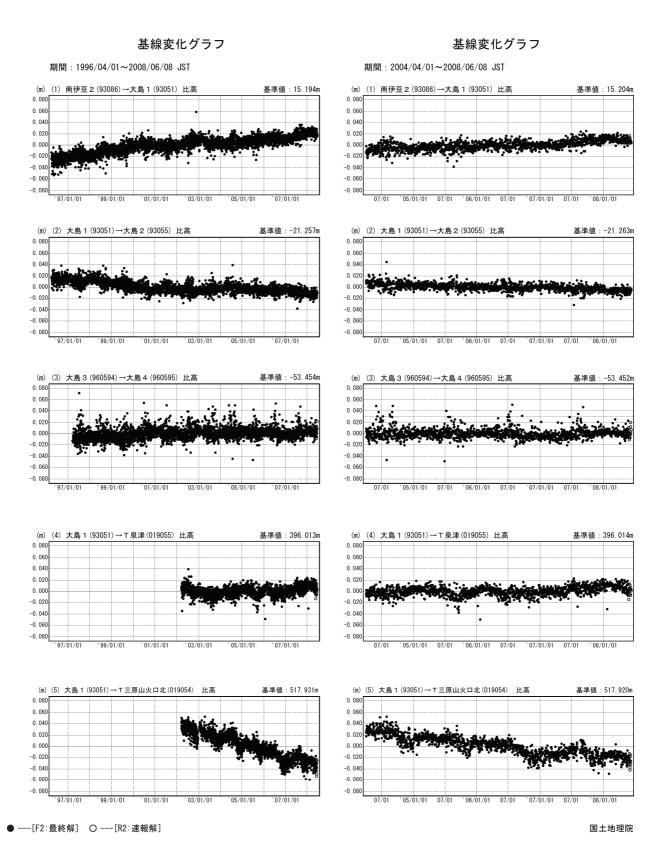
第1図(a) GPS 連続観測点基線図

Fig.1(a) Site location map of the GPS continuous observation network around Izu-Oshima Volcano.



※電子基準点の保守等による変動は補正済み

- 第 1 図 (b) 伊豆大島の GPS 連続観測結果 (基線長: 左列 1996 年 4 月~2008 年 6 月、右列 2004 年 4 月~2008 年 6 月)
- Fig.1(b) Results of continuous GPS observation around Izu-Oshima Volcano, Baseline length; (left) from April 1996 to June 2008, (right) from April 2004 to June 2008.



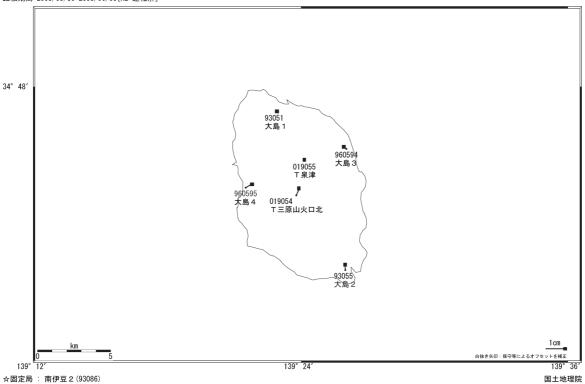
※電子基準点の保守等による変動は補正済み

第1図(c) 伊豆大島の GPS 連続観測結果 (比高: 左列 1996年4月~2008年6月、右列 2004年4月~2008年6月)

Fig.1(c) Results of continuous GPS observation around Izu-Oshima Volcano, Relative height; (left) from April 1996 to June 2008, (right) from April 2004 to June 2008.

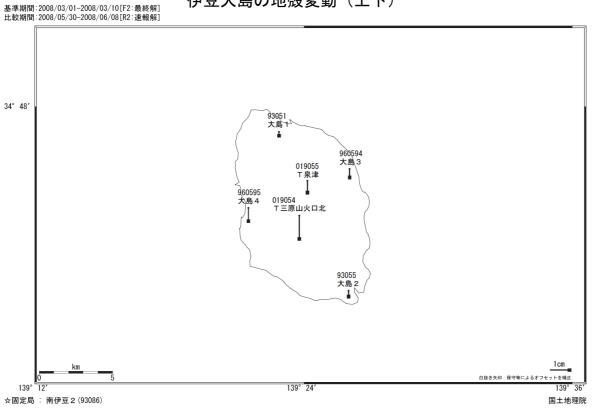
基準期間:2008/03/01-2008/03/10[F2:最終解] 比較期間:2008/05/30-2008/06/08[R2:速報解]

伊豆大島の地殻変動 (水平)



第2図(a) 伊豆大島における GPS 連続観測点の水平変動ベクトル図(2008年3月~2008年6月) Fig.2(a) Horizontal displacements of GPS stations around Izu-Oshima Volcano from March 2008 to June 2008.

伊豆大島の地殻変動(上下)



第2図(b) 伊豆大島における GPS 連続観測点の上下変動ベクトル図(2008年3月~2008年6月) Fig.2(b) Vertical displacements of GPS stations around Izu-Oshima Volcano from March 2008 to June 2008.

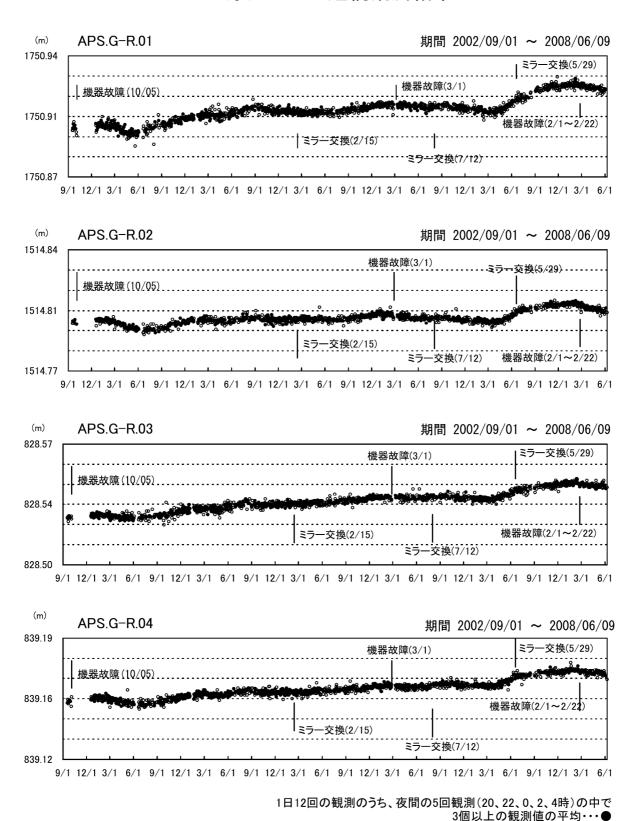
三原山 APS観測点 設置位置図



第3図(a) 伊豆大島における APS 観測点配置図

Fig.3(a) Site location map of APS (optical distance measurement) observation around Izu-Oshima Volcano.

三原山のAPS連続観測結果

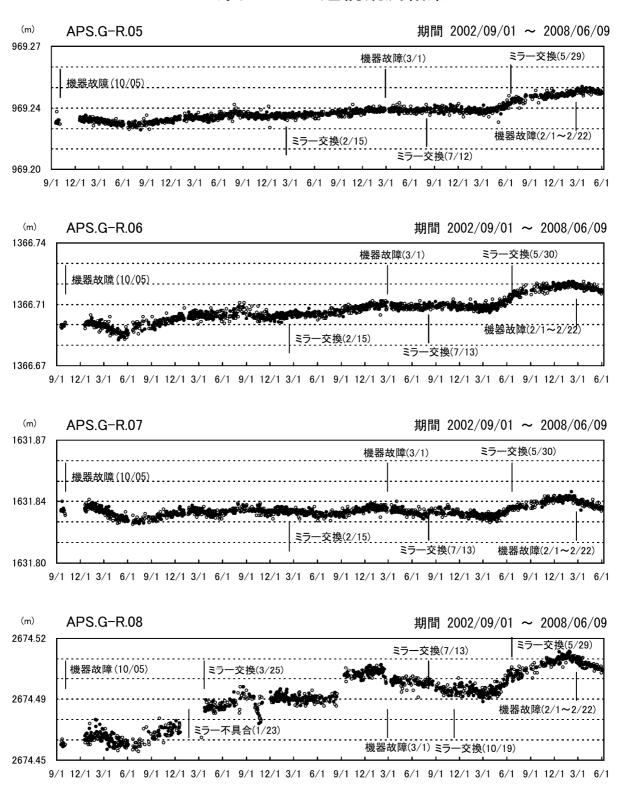


第3図(b) 伊豆大島における APS による光波測距観測結果(2002年9月~2008年6月)

Fig.3(b) Results of optical distance measurement by APS around Izu-Oshima Volcano from September 2002 to June 2008.

2個以下の観測の平均値・・・〇

三原山のAPS連続観測結果



3個以上の観測値の平均・・・・

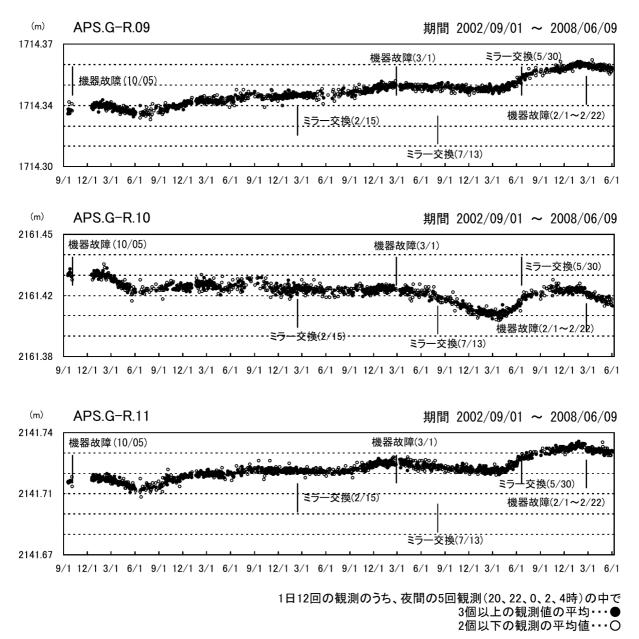
1日12回の観測のうち、夜間の5回観測(20、22、0、2、4時)の中で

2個以下の観測の平均値・・・○

第3図(c) 伊豆大島における APS による光波測距観測結果(2002年9月~2008年6月)

Fig.3(c) Results of optical distance measurement by APS around Izu-Oshima Volcano from September 2002 to June 2008.

三原山のAPS連続観測結果



第3図(d) 伊豆大島における APS による光波測距観測結果(2002年9月~2008年6月)

Fig.3(d) Results of optical distance measurement by APS around Izu-Oshima Volcano from September 2002 to June 2008.

「だいち」PALSARによる 伊豆大島の解析結果について

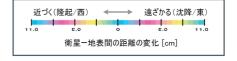
<解析データ>

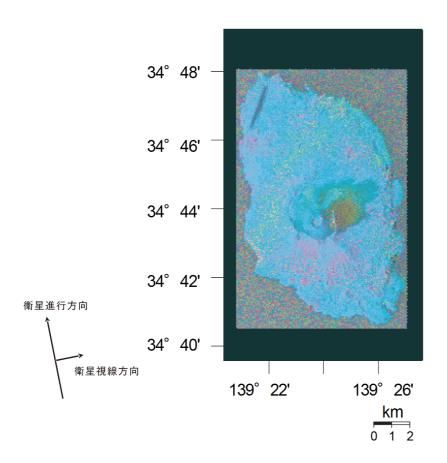
衛星/センサ : だいち(ALOS)/PALSAR (波長23.6cm)観測モード : 北行軌道、オフナディア34.3°

観測日 : 2008/01/30 - 2008/05/01

観測モード: FBS, HH/FBS, HH

Bperp : +831 m





Analysis by GSI from ALOS raw data (c) JAXA, METI

第4図 「だいち」PALSARによる伊豆大島の解析結果について

Fig.4 Interferometric analysis of SAR acquired by "Daichi" PALSAR on Izu-Oshima Volcano.